

Education Userbility Unprecedented
「木育」×「ユーザ」＝「新価値」？

木材が人に様々な良い効果をもたらさう（≒少なくとも悪さはしない）ことは、木材関連業界の共通認識といえますが、この効果が科学的なエビデンスにより示された例は決して潤沢ではありません。今後、「木材と人」に関するエビデンスを蓄積し、これまで利用されていない新たな分野への木材利用を推進するためには、様々な分野との融合が不可欠ではないかと考えられます。

そこで、「木育」と「ユーザ・サイエンス」の視点から「木材と人」に繋がる研究・実践について話題提供頂くことで、「木材と人」に関する研究や製品への「新たな価値」の創造につなげることを目指し、本講演会を企画しました。分野や業界を問わず、「木の良さ」を「人の評価軸」から追及する、「教育」の視点から伝えることにご関心をお持ちの方々の参加をお待ちしております。

- 主催：日本木材学会居住性研究会，日本生理人類学会 Wood/Human Relations 研究部会
- 共催：日本生理人類学会ものづくり研究部会，日本木材加工技術協会木質仕上げ部会
- 後援：国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所
- 日時：2018年2月27日（火）10：00～12：00（受付開始9：30）
- 会場：東京大学弥生講堂一条ホール（東京都文京区弥生 1-1-1）

• 内容

講演1 「木育の立場から木材と人に関する研究に期待すること」

熊本大学教育学部 教授・副学部長 田口 浩継 先生

講演2 「ユーザ・サイエンスから見る木材」

千葉大学大学院工学研究院 教授 下村 義弘 先生

- 会費（予定）：1,000 円（資料集代として、当日会場受付にてお支払ください）
- 定員：300 名（先着順）
- 参加申込：専用サイト（<http://woodboow.xii.jp/whr2/>）よりお申し込みください
- お問い合わせ：whr@woodboow.xii.jp また下記世話人までメールにてお問い合わせください

【世話人】木村 彰孝（広島大学，日本木材学会居住性研究会）

E-mail：aakimura@hiroshima-u.ac.jp, Tel：082-424-7157

仲村 匡司（京都大学，日本生理人類学会 Wood/Human Relations 研究部会）

E-mail：nakamasa@kais.kyoto-u.ac.jp, Tel：075-753-6237

杉山 真樹（森林総合研究所，日本木材学会居住性研究会）

E-mail：sugicchi@ffpri.affrc.go.jp, Tel：029-829-8302

同日 13:30 より同会場にて、森林総合研究所運営費交付金プロジェクト「人間の快適性に及ぼす木材の触覚，視覚及び嗅覚刺激の効果の解明」成果報告会「木の良さ」を科学する－木材がひとの触・視・嗅に及ぼす影響－が開催されます。併せてご参加ください（別途申込要，参加費無料）。